4-653-323-**01**(1)

CD-R/RWドライブ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CRX76L

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

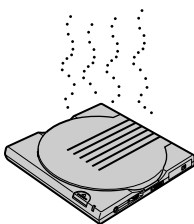
安全のための注意事項を守る

4〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに修理窓口、または販売店にご連絡ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

❶ 電源を切る

❷ ACアダプターやインターフェースケーブルを抜く

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

ACアダプターや電源コードを傷つけない

ACアダプターや電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

万一、電源コードが傷んだら、修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、修理窓口、または販売店にご依頼ください。

内部を開けない

開けたり改造したりすると、レーザー光線による視力障害や、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理は修理窓口、または販売店にご依頼ください。

分解禁止

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

ACアダプターのプラグについたホコリなどは定期的に取りのぞく

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不足となり、火災の原因となります。

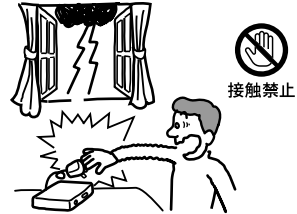
指示

付属のACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

たこ足配線をしない

配線器具をたこ足配線して定格をこえた電流が流れると、火災などの原因となります。

禁止

ACアダプターのプラグは根元までコンセントにさしこむ

しっかり根元までさしこまないと、火災や感電の原因となります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない

ぬれた手でACアダプターの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

通電中の本体やACアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

移動させるときは、ACアダプターを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

⚠注意 **下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。**

長時間使用しないときはACアダプターのプラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

付属のインターフェースケーブル以外は使用しない

故障の原因となることがあります。

レーザー安全基準について

この装置は、レーザーに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1適合のCD-R/RWドライブです。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- Microsoft、MS、MS-DOSおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピューターに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

□ 弊社による製品保証は、同梱付属品（ソフトウエア含む）を使用し、指定または推奨するシステム環境を満足し、かつ取扱説明書に従う正常なご使用の場合において、CD-R/RWドライブ本体に限り有効です。また、ユーザーサポートなどの弊社サービスについても、製品保証と同等の使用条件に限り対応致します。
□ 本製品のご使用による、パソコン本体や他の機器の不具合、特定のハードウエア・ソフトウエア・周辺機器に対する適性、またインストールされたソフトウエア相互の適正などに起因する動作障害、データやディスクの損失、あるいは他の偶発的または必然的な損害に対しては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
□ 本製品は、日本国内向け販売製品です。保証およびユーザーサポートは日本国内においてのみ有効です。
□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の傷害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

著作権にご注意ください

CD-R／CD-RWディスクにデータを書き込む前に、その行為が著作権法に違反していないかを確認してください。多くのソフトウェアは、その所有者に対してバックアップや保管のためのコピーが許可されています。詳細については、コピー元のソフトウェアの使用許諾書などでご確認ください。

はじめに

CRX76Lには、次の特長があります。

□ CD-Rディスクに最大8倍速で書き込むことができます。
□ CD-RWディスクに最大4倍速で書き込むことができます。
□ CD-ROMディスクを最大24倍速で読むことができます。
□ 持ち運びに便利な小型軽量設計です。
□ 100～240 Vの電源電圧に対応した小型軽量の専用ACアダプターが付属しています。
□ コンピューターのi.LINK（IEEE1394）コネクターに接続が可能なインターフェースケーブル（4ピン-4ピン、4ピン-6ピン）が付属しています。

i.LINKとは

i.LINKは、コンピューターや周辺機器を接続する高速なシリアルインターフェースです。i.LINKコネクターを持つ機器をi.LINKケーブルで接続するだけで、機器間でのデータのやり取りや接続した機器のコントロールを行うことができます。

メモ

CRX76Lのインターフェースコネクターは、S400（約400 Mbps）の転送速度に対応していますが、実際の転送速度はご使用のコンピューターによって変わります。
i.LINKの転送速度には、現在、S100（約100 Mbps）、S200（約200 Mbps）、S400（約400 Mbps）が定義されています。

i.LINKとFireWire、IEEE1394について

i.LINK（アイリンク）とは、国際標準規格IEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。なお、i.LINKコネクターを持つ機器間でも機器の特性や仕様によって、操作やデータのやり取りができない場合があります。
また、米国アップルコンピュータ社ではIEEE1394の呼称としてFireWireという商標を使用しています。
このマニュアルでは、IEEE1394をおもにi.LINKと呼んでいます。

必要なシステム構成

CRX76Lは、次の仕様のコンピューターで使用できます。

Windows**モデルの場合**

□ CPU：Pentium 266 MHz 以上（400 MHz以上推奨）
□ RAM：32 Mバイト以上
□ ハードディスク空き容量：100 M バイト以上（1 Gバイト以上推奨）
□ コンピューターに、i.LINK（IEEE1394）コネクター（OHCI準拠）が標準で搭載されているか、PCIバス用IEEE1394インターフェースボード（OHCI準拠）が搭載されていること
□ OS：Microsoft Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition（以降、Windows Me）、Windows 2000 Professional（ノートパソコンの場合は、プリインストールされていること）

Macintosh**モデルの場合**

□ FireWire（IEEE1394）コネクターが標準で搭載されている機種
□ 標準でCD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブが搭載されていること（セットアップに使用）
□ OS：Mac OS 8.6、9.0.4、9.1
□ Apple FireWire 2.1以降がインストールされていること

ご注意

- ソニー製コンピューターVAIOの場合、下記のモデルでは使用できません。
  PCG-F34/BP、PCG-Z505JL、PCG-Z505J/BP、PCG-Z505JX
- Windows 98 Second EditionがインストールされたコンピューターでCRX76Lを使用する場合は、IEEE1394ドライバーをアップデートしてください。
  IEEE1394ドライバーをアップデートしないとCRX76Lが正常に動作しないおそれがあります（アップデートプログラムは、付属のCD-ROMに収録されています）。
- CRX76Lを使用してシステムリカバリ（Windowsの再インストール）を行うことはできません。
- CardBus用IEEE1394インターフェースカードやIEEE1394ハブ、Apple FireWire PCIカード、その他のデバイスを介してCRX76Lを接続した場合の動作は保証しておりません。
- 「必要なシステム構成」の内容は、CRX76Lの基本的な使用を想定した目安です。
  実際にCRX76Lの性能をフルに発揮させるには、ご使用になるライティングソフトウェアのシステム条件をすべて満たす必要があります。

使用できるディスク

CRX76Lで使用できるディスクは以下の通りです。

ディスクの種類	マーク	
CD-R	COMPACT disc Recordable	
CD-RW	COMPACT disc ReWritable	
CD-ROM	COMPACT disc	
音楽CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	
CD EXTRA	COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO	CD EXTRA TM
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VIDEO CD
CD TEXT	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD TEXT
CDグラフィックス	COMPACT disc DIGITAL AUDIO GRAPHICS	
フォトCD	COMPACT disc PHOTO	
CD-i	COMPACT disc Interactive	
電子ブック	EBXA Electronic Book	

ご注意

CRX76Lでは円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、CRX76Lの故障の原因となります。

CD-RディスクとCD-RWディスクについて

CRX76Lは、CD-Rディスクへの書き込みと、CD-RWディスクへの書き込みができます。
これらディスクへの書き込みには、ライターソフトウェアを使用します。
書き込んだディスクをCRX76L以外の他のCD-ROMドライブなどで再生（データの読み出し）するには、ライターソフトウェアで書き込むときに目的に応じた設定を行います。

CD-Rディスクとは

1度だけデータを書き込めるディスクです。一度書き込まれたデータは消去することができません。CD-Rディスクで音楽CDを作成したものは、一般のCDプレイヤーで再生することができます。

CD-RWディスクとは

データを書き込んだり、消去することができるディスクです。目安として、未使用のCD-RWディスクで約1000回の書き換えができます。

ディスクの互換性について

CRX76Lで作成したCD-RディスクやCD-RWディスクは、ほとんどのCD-ROMドライブで再生することができます。ただし、古いタイプのCD-ROMドライブにはCD-RWディスクの再生に対応していない機種があります。
また、CRX76Lで作成した音楽CD-Rディスクは、ほとんどのCDプレイヤーで再生することができます。ただし、一部のCDプレイヤーや車載用のCDプレイヤーには、音楽CD-Rディスクの再生を保証していない製品もあります。
なお、使用するCD-ROMドライブ、CDプレイヤー、CD-Rディスク、CD-RWディスクのメーカー間における品質や諸特性の差により、組み合わせによっては稀にディスクの再生ができないことがあります。

次のページにつづく

CD-R／CD-RWディスクに適した用途について

CD-RディスクとCD-RWディスクの特性を生かした用途は、一般的には次のようになります。目安として参照してください。

	CD-Rディスク	CD-RWディスク
音楽CDの作成	○	
データの配布	○	
バックアップ		○
データの保管	○	
原盤（マスター）作成	○	○
ファイルの一時保存（ストレージ）		○

書き込み速度について

書き込み速度は、使用するディスクの対応速度を超えない範囲で設定してください。書き込み速度は、ライターソフトウェアで設定します。

推奨するディスクについて

CRX76Lでは、ソニー製のディスクのご使用をおすすめします。
CD-R：ソニー製650 Mバイトおよび700 MバイトCD-Rディスク
CD-RW：ソニー製650 MバイトCD-RWディスク

CD-RWディスクに4倍速で書き込む場合は、使用するディスクが4倍速以上に対応しているかどうかを確認してください。

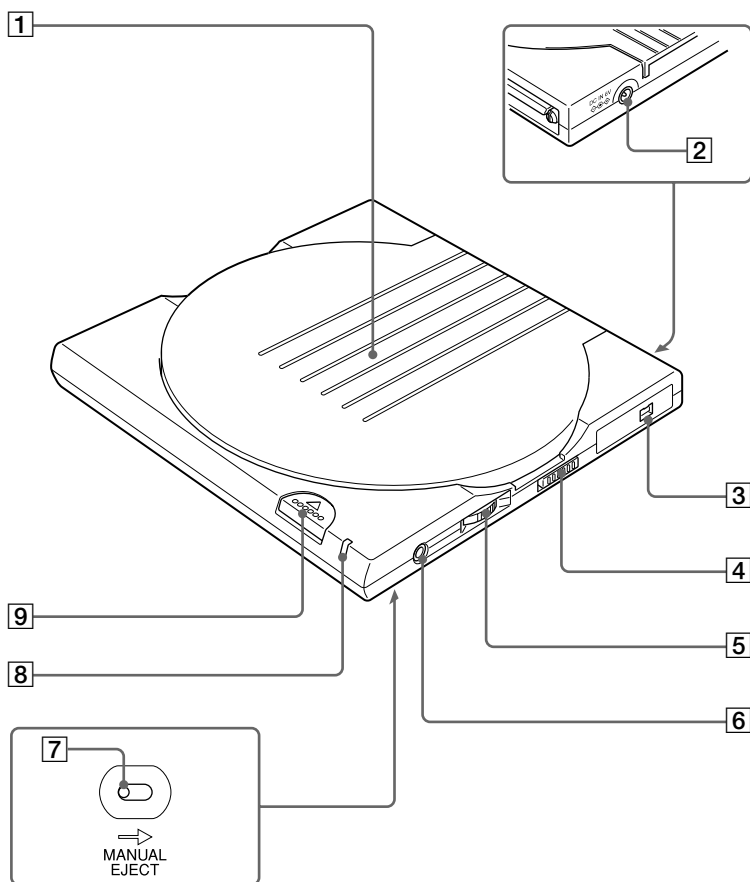
ご注意

- CRX76Lは、ハイスピードCD-RWディスクには書き込みを行うことができません。ただし、ハイスピードCD-RWディスクに対応したCD-RWディスクを使用して適切に書き込まれたハイスピードCD-RWディスクの再生は、行うことができます。
- 99分ディスク、8 cmCD-Rディスクへの書き込み、およびそれらの書き込み済みディスクの再生に対する品質の保証は致しておりません。

書き込み方式について

CRX76Lでは、さまざまな書き込み方式でCD-R／CD-RWディスクにデータを書き込むことができます。書き込み方式は、作成するディスクの種類や用途に応じてライターソフトウェアで設定します。通常は、書き込み方式を意識することなく、ライターソフトウェアの標準の設定でCD-R／CD-RWディスクにデータを書き込むことができます。
ここでは、CRX76Lが対応している書き込み方式の概要を説明します。詳細については、ご使用になるライターソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

- ディスクアットワンス：1度の書き込み操作で、ディスク全体を記録する方式です。あとからデータを追記することはできません。
- セッションアットワンス：1度の書き込み操作で、1つのセッションを記録する方式です。あとからデータを追記することができます。
- トラックアットワンス：1度の書き込み操作で、1つのトラックを記録する方式です。あとからデータを追記することができます。
- パケットライト：トラックやセッション単位ではなく、ファイルやフォルダなどの単位でデータを追記することができる書き込み方式です。
  ファイルやフォルダをドラッグアンドドロップしてコピーする感覚で書き込みを行うことができます。

各部の名称と働き

1 **トップカバー**

2 **電源端子（本体背面）**
付属のACアダプターを接続します。

ご注意

付属のACアダプター、電源コード以外は絶対に接続しないでください。CRX76Lが故障するおそれがあります。

3 **インターフェースコネクター**
付属のインターフェースケーブルを接続します。

ご注意

付属のインターフェースケーブル以外を使用した場合の動作は保証しておりません。

4 POWER**スイッチ**
電源を入れたり切ったり（オン／オフ）するスイッチです。

5 **ボリュームつまみ**
ヘッドホンジャックから出力されるアナログオーディオの音量を調節します。

6 **ヘッドホンジャック**
ヘッドホンやアクティブスピーカーを接続して使用します。

7 **マニュアルイジェクトレバー（本体底面）**
電源が入っていないときは、このレバーを矢印方向に押してトップカバーを開きます。

8 **インジケーター**
ドライブの動作状態を示します。電源オンで動作していないときは緑色、動作しているときは橙色に点灯します。

9 **イジェクトボタン**
トップカバーを開くときに押します。

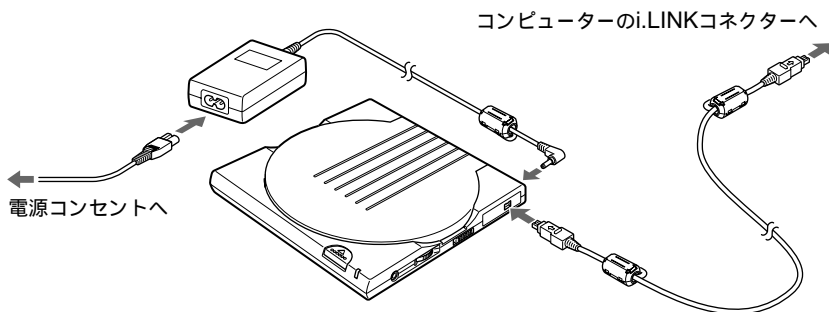
重要

イジェクトボタンを押してもトップカバーが開かなくなったときは（書き込み中を除く）、本体裏面にあるマニュアルイジェクトレバーを矢印方向に押してトップカバーを開いてください。

メモ

動作中に誤ってトップカバーが開くことを防ぐため、CRX76Lは電動イジェクト機構になっています。このため、電源が入っていないときは、イジェクトボタンを押してもトップカバーが開きません。また、アプリケーションの状況によっては、イジェクトボタンを押したあと、トップカバーが開くまで1秒以上かかることがあります。

コンピューターとの接続

下図のように接続します。

ご注意

- CRX76Lをコンピューターに初めて接続するときは、必ず「クイックスタートガイド」をお読みください。とくにWindows 98 Second Editionで使用する場合は、「クイックスタートガイド」の説明に従わないとCRX76Lが正常に動作しないおそれがあります。
- ACアダプター、電源コード、インターフェースケーブルは、付属のもの以外は使用しないでください。
- CRX76Lはコンピューターのi.LINKコネクターに直接接続してください。CardBus用IEEE1394インターフェースカードやIEEE1394ハブ、Apple FireWire PCIカード、その他のデバイスを介してCRX76Lを接続した場合の動作は保証しておりません。

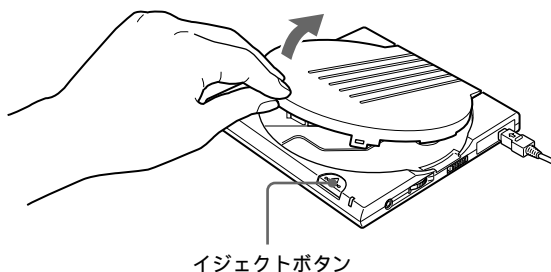
メモ

- 付属のインターフェースケーブルは、4ピン-4ピン、4ピン-6ピンの2種類です。コンピューターのi.LINKコネクターが4ピンか6ピンかを確認し、どちらかのケーブルを使用してください。
- 電源のオン／オフは、CRX76Lとコンピューターのどちらを先に行ってもかまいません。
- インターフェースケーブルからCRX76Lに電源は供給されません。CRX76Lは必ず電源に接続して使用してください。

ディスクの出し入れ

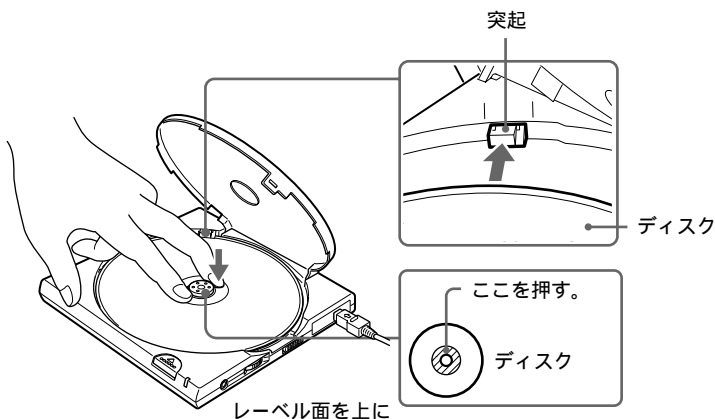
ディスクを入れる

1 イジェクトボタンを押してトップカバーを開ける。

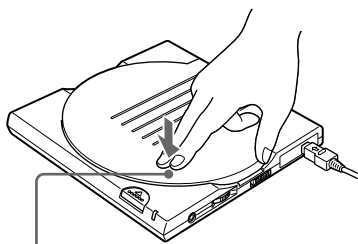
トップカバーが少し開くので、手で持ち上げてください。

2 ディスクを入れる。

ディスクの中心を、ディスクが固定されるまで押し込みます。カチッと音がするまで確実に装着してください。このとき、無理な力を加えないでください。また、レンズに触れないように注意してください。

ご注意

ディスクは、ディスクの側面でドライブ内部の突起を押し込むようにして入れてください。また、トップカバーを閉める前に、ディスクが突起の上に乗り上げていないことを確認してください。

次のページにつづく

3 トップカバーを閉める。

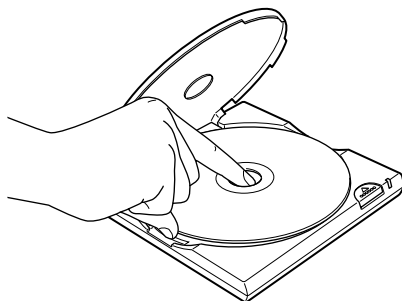
ディスクのデータを使えるようになります。

ここを押してしっかりふたを閉めます。

ディスクを取り出す

1 イジェクトボタンを押してトップカバーを開ける。

トップカバーが少し開くので、手で持ち上げてください。

2 ディスクを取り出す。

CRX76Lの側面からディスクの端に指を当て、別の指でドライブ中央の凸起部を押しながらディスクを取り出します。

ご注意

- ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してから、ディスクを取り出してください。
- インジケーターが橙色に点灯しているときは、トップカバーを開けないでください。コンピューターの操作ができなくなることがあります。

CRX76Lの取り外し

ご注意

次のときは、CRX76Lを取り外さないでください。
- CRX76Lのインジケーターが橙色に点灯しているとき
- コンピューターの電源を入れたあと、完全に起動するまで
- CRX76Lを使用しているアプリケーションが起動しているとき（CRX76Lを使用中のアプリケーションを終了してからCRX76Lを取り外してください。）

Windowsの場合、コンピューターの電源が入っている状態でCRX76Lを取り外すときは下記の手順に従ってください。下記の操作を行わずにCRX76Lを取り外すと、警告のメッセージが表示されます。
Macintoshの場合は下記の操作は必要ありません。コンピューターの電源が入っている状態でもCRX76Lを取り外すことができます。

1 タスクバーのアイコンをクリックする。

2 表示されたショートカットメニューでCRX76Lを選択する。
- Windows 98 Second Editionの場合は、［Stop 1394/USB CD-ROM - Drive（X:)］（「X」には、CRX76Lが割り当てられているドライブが表示されます）をクリックします。
- Windows Meの場合は、［IEEE 1394 CD-ROM - ドライブ（X:）の停止］（「X」には、CRX76Lが割り当てられているドライブが表示されます）をクリックします。
- Windows 2000の場合は、［SONY CD-RW CRX-75L IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ（X:）を停止します］（「X」には、CRX76Lが割り当てられているドライブが表示されます）をクリックします。

次のページにつづく

3 表示されたメッセージで［OK］をクリックする。

- Windows 98 Second Editionの場合は、「'1394/USB CD-ROM X:' デバイスをコンピュータから取り外しても安全です。」というメッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。
- Windows Meの場合は、「'IEEE 1394 CD-ROM' は安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。
- Windows 2000の場合は、「'SONY CD-RW CRX-75L IEEE 1394 SBP2 Device' は安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

4 CRX76Lのインターフェースケーブルをコンピューターから引き抜く。

故障かな？と思ったら

指定の相談窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。
それでも具合が悪いときはお買い上げ店または指定の相談窓口にご相談ください。

CRX76Lのユーザーサポートに関する最新の情報を、インターネットでご案内しています（日本語情報のみです）。あわせてご参照ください。
http://www.sony.co.jp/CRX76L

症状	原因／対策
本ドライブがコンピューターに認識されない。または正常に動作しない、動作が不安定。	→ i.LINKデバイスが使用可能に設定されていない可能性があります。詳細については、ご使用のコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 → AC電源コードやインターフェースケーブルが正しく接続されていない可能性があります。接続部分がドライブやコンピューター本体にしっかりと接続されていることを確認してください。また、「クイックスタートガイド」をご覧になり、正しく接続されているかどうかを確認してください。 → Windows 98 Second Editionでご使用の場合は、アップデートプログラムがインストールされているかどうかをご確認ください。詳細については、「クイックスタートガイド」をご覧ください。
ディスクを入れたのに音とびしたりデータが読めない。	→ ラベル面を下にしてディスクを入れている可能性があります。ディスクはラベルを上にして入れてください。 → 使用できないディスクの可能性があります。 本書の「使用できるディスク」（12ページ）をご覧ください。 → ディスクまたは本ドライブのレンズが汚れている可能性があります。レンズが汚れている場合は、お買い上げ店やサービス窓口にご相談ください。 → ディスクに再生できないほどのキズがある場合があります。本ドライブに異常がないことを確かめるために、キズのない別のディスクに取り替えてみてください。 → 本ドライブのターンテーブルの上にゴミが付着している場合がありますので、清掃してみてください。 → 本ドライブやディスクが結露している場合があります。ディスクまたは本ドライブのレンズが水蒸気でくもっている場合は、ディスクを取り出して約1時間放置してください。

次のページにつづく

症状	原因／対策
ディスクが取り出せない。	→ ドライブの電源がオフの時は、イジェクトボタンを押してもトップカバーは開きません。ドライブの電源を入れるか、マニュアルイジェクトレバーを使用してください。 本書の「各部の名称と働き」（16ページ）をご覧ください。 → 書き込み動作中は、イジェクトボタンを押しても取り出せません。ご使用のライターソフトウェアの操作方法に従って取り出してください。 ライターソフトウェアに同梱されているマニュアルをご覧ください。 → 何らかの原因でコンピューターがハングアップしている可能性があります。 ドライブの電源を入れ直し、コンピューターを再起動させてください。
CD-R/RWへのデータ書き込み時にデータの書き損じが起こる。	→ CRX76Lをハブ（IEEE1394ハブ）に接続している場合は、コンピューターのi.LINKコネクターに直接接続してください。 → 書き込み速度を4倍速以外に設定している場合、4倍速に設定を変更してください。（本ドライブの推奨する書き込み速度は、CD-RWディスク、CD-Rディスクともに4倍速です）書き込み速度の設定変更は、ライターソフトウェアで行います。 → コンピューターのスクリーンセーバーが動作しないように設定を切ってください。 → ライターソフトウェア以外のソフトウェアを終了させてください。他のソフトウェアが動作していると、データ転送レートが極端に低くなり、データの書き損じが起こるおそれがあります。 → 常駐型のディスクユーティリティーや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティーなどは終了させてください。 → オンザフライ書き込み（CRX76Lと、別のCD-ROMドライブなどを使用してディスクからディスクに直接データを書き込む方式）を行っている場合は、オンザフライの設定を解除してください。または、いったんハードディスクにデータをコピーし、ハードディスクから書き込みを行ってください。 オンザフライ書き込みでは、CPU速度、メモリー量、読み出し側ドライブの転送速度など、多くの要因から影響を受け、システムによっては書き込みエラーが発生する場合があります。

症状	原因／対策
作成した音楽CDを再生すると、ノイズが聞こえる。（再生音にノイズが混入している）	→ ライターソフトウェアに同梱されているマニュアルのQ&Aやトラブルシューティングのページなどをご覧になり、ライターソフトウェアの設定を変更してください。 → コンピューターによっては、ノイズが発生する場合があります。別のコンピューターを使用して音楽CDを作成すると、ノイズのないCDが作成できることがあります。
コンピューター起動時に障害が出たり、ライターソフトウェアが正常に動作しない。	→ すでに「CDRFS」などのパケットライト方式のライターソフトウェアがインストールされているコンピューターに、CRX76Lに付属のライターソフトウェアをインストールすると、正常に動作しない場合があります。他のパケットライト方式のライターソフトウェアはあらかじめアンインストールしてください。コンピューターによってはプリインストールされている場合もありますので、ご確認ください。
付属以外のライターソフトウェアをインストールしたが、動作しない。	→ ご使用のライターソフトウェアがCRX76Lに対応していない場合があります。詳しくは、ご使用のライターソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。 → ライターソフトウェアのバージョンの違いにより、CRX76Lに対応していない場合があります。詳しくは、ご使用のライターソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。また、ソフトウェアバージョンのアップグレードサービスやダウンロードサービスを利用し、CRX76Lに対応できることがあります。
音楽CDやディスクの再生音がヘッドホン、またはコンピューターのスピーカーから聞こえない。	→ Windowsの設定によって、音声の出力先を変更します。 • Windows MeおよびWindows 2000の場合は、［スタート］ボタン－［設定］－［コントロールパネル］－［システム］を開き、［デバイスマネージャ］タブを表示させます（Windows 2000の場合は、［ハードウェア］タブで［デバイスマネージャ］ボタンをクリックして「デバイスマネージャ」ウィンドウを表示させます）。［CD-ROM］にある「CRX76L」をダブルクリックし、［プロパティ］タブで［このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする］チェックボックスをチェックすると、コンピュータのスピーカーから音楽を聴くことができます。チェックを外すと、ヘッドホンから聴くことができます。

次のページにつづく

症状	原因／対策
音楽CDやディスクの再生音がヘッドホン、またはコンピューターのスピーカーから聞こえない。	•Windows 98 Second Editionの場合は、［スタート］ボタン－［設定］－［コントロールパネル］－［マルチメディア］を開き、［音楽CD］タブで［このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする］チェックボックスをチェックすると、コンピュータのスピーカーから音楽を聴くことができます。チェックを外すと、ヘッドホンから聴くことができます。 • コンピューターによっては、スピーカーから音楽を聴くことができないものがあります。その場合は、ヘッドホンから聴くことができます。 → Macintoshの場合、機種によってはCRX76LにセットしたディスクEの再生音をMacintosh本体のスピーカーから聞けないことがあります。音楽CDの再生には、Macintosh本体に装備されたCD-ROMドライブやDVD-ROMドライブのご使用を推奨します。

使用上のご注意

特に注意していただきたい事

- **付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。**
- **書き込み動作中に振動や衝撃を絶対に与えないでください。書き込み途中にエラーを発生させ、そのCD-R/RWディスクが使用不能になる場合があります。**
- インターフェースケーブルのコネクター付近を、強く折り曲げたりしないでください。断線や接触不良の原因になります。

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

輸送について

- 梱包箱は大切に保管してください。輸送の際に必要になります。
- 本機を輸送するときは、その前に必ずディスクを取りだしてください。

結露現象について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して1時間以上待ち、それから電源を切ってください。

レンズについて

- 本機のレンズ（ふたの内側）には触れたり、直視しないでください。また、ほこりがつかないようにディスクの出し入れのとき以外はふたを閉じておいてください。
- レンズが汚れて本機が正常に動作しなくなったときは、お買い上げ店やサービス窓口にご相談ください。

次のページにつづく

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁と中心の穴を支えるようにして持ちます。記録面に触れないでください。

- ディスクの製造・販売元が保証している場合を除いて、ディスクに文字を書いたり、紙などを貼ったりしないでください。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。
  汚れがひどいときは柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。
  ベンジン、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めますので使わないでください。

- CD-Rディスクや、CD-RWディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- CD-Rディスクや、CD-RWディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

ライターソフトウェアについて

- ライターソフトウェアは、付属のもの以外を使用することもできますが、その場合のCRX76Lの動作については、保証やサポートの対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- ご使用になるライターソフトウェアがCRX76Lをサポートしているかどうかについては、そのライターソフトウェアの製造／販売元にお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは指定相談窓口へご連絡ください

指定相談窓口については、本書の「製品サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCD-R/RWドライブの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、修理窓口にご相談ください。

修理のご依頼について

本製品の修理をご依頼の際は、製品本体、およびインターフェースケーブル、ACアダプターなどの付属品一式を、お買い上げ店やサービス窓口にご提供ください。

- 本製品は持ち込み修理対象製品です。故障その他の理由でお買い上げ店やサービス・相談窓口に製品をご提供いただく場合、受け付けまたはご返却に関わる配送費用、製品の取り付けや取り外し、接続調整などの諸費用はすべてお客様のご負担となります。
- 本製品は、日本国内向け販売製品です。保証およびユーザーサポートは日本国内においてのみ有効です。

主な仕様

速度

書き込み速度（CD-R）

2倍速、4倍速、8倍速

書き込み速度（CD-RW）

2倍速、4倍速

読み出し速度

最大24倍速

使用可能なディスク

CD-R
CD-RW
CD-ROM
CD-ROM XA
CD-DA
CD EXTRA（CD+）
ビデオCD
CD TEXT
Photo CD
（マルチセッション対応）
CD-I
CD Bridge
オーディオコンバインドCD-ROM

ディスク径　12 cm
　　　　　　8 cm（読み出しのみ）

書き込み方式

トラックアットワンス
ディスクアットワンス
セッションアットワンス
パケットライト

ドライブ

データ転送レート

最大：3600 Kバイト/s（24倍速[1]）

アクセス時間

平均（ランダムストローク）：160 ms

1) 最大データ転送レートは、コンピューターの性能によって異なります。

環境条件／保存環境

動作温度

5 ℃～35 ℃

保存環境

温度－20 ℃～50 ℃　湿度20 %RH～90 %RH
（結露なきこと）

電源・その他

電源

外部電源ジャック　定格5 V
ACアダプター（AC-CRX75）
定格入力　AC 100 V～240 V

消費電力

約5.5 W

大きさ

約129×15×134 mm（幅／高さ／奥行き）

質量

約200 g（本体のみ）

インターフェース

ドライブインターフェース

IEEE1394準拠

バッファ容量

4 Mバイト

仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製品サポートのご案内

CRX76Lの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウエアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなど、お電話でご相談になる前に、以下で提供している情報をご確認ください。

- **ユーザーサポートホームページ**
  http://www.sony.co.jp/CRX76L
- **故障かな？と思ったら**
  本書23ページ
- **ライターソフトウェアについて**
  付属のライターソフトウェアに関する情報は、ソフトウェアの製造および販売元のホームページでご案内しています。

それでもご不明な場合、以下の相談窓口にお問い合わせください。また、動作の不具合や故障に関するご相談の場合は、次のことをお知らせください。

- **型名：**CRX76L
- **製造番号**
- **製品の購入年月日・ご購入店名**
- **ご使用のコンピューターのメーカー・型番**
- **コンピューターの仕様（**CPU**速度、メモリー容量、**OS**のバージョンなど）**
- **ご使用のライターソフトウエア（バージョンなど）**
- **不具合時の状態：できるだけ詳しく**
- **製品ご使用当初は問題がなかったか、最初からうまく動かなかったか、など**

ソニーストレージコール
TEL 0475-58-0931
受付時間
月～金（祭日を除く）
10:00～18:00

CRX76Lの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなどは、本書の「製品サポートのご案内」をご覧になった上で、以下にご連絡ください。

ソニーストレージコール

TEL: 0475-58-0931

受付時間
月〜金（祭日を除く）
10:00から18:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Malaysia